

令和元年度 事業報告 について

1 事業の内容

○こだかさ障害者支援センター（就労継続支援A・B）

(1) 開所（就労）日数 259日（第2・4土曜日営業日）

- ・木工科 8:30～17:00
- ・軽作業/洋裁科 9:00～16:00
- ・理美容科/鍼マッサージ科 ㊦8:30～15:30 ㊧10:00～17:00

（理美容科/鍼マッサージ科⇒コロナ感染防止のため臨時休業3月4日～5月31日）

(2) 利用者数 (2/3/31現在 単位：人)

区分(定員)	木工科	洋裁科	理容科	美容科	鍼灸マッサージ	計(現員)
A(10)	2	—	1	1	—	4
B(44)	29	5	1	1	7	43
計(54)	31	5	2	2	7	47

(3) 平均月額工賃（秋/春の奨励金含む） (単位：人・円)

区分 年額/12月	3万未満	3～10万	10万以上	最高額	最低額	月平均	
A型	—	—	4	197,409	104,348	148,810	
B型	木工科	10	15	4	133,232	7,031	46,860
	洋裁科	5	—	—	26,150	1,779	13,655
	理容科	—	1	—	65,863	—	—
	美容科	—	2(1)	—	68,168	65,880	67,024
	鍼灸マッサージ	1	6	—	92,699	17,927	56,621
	計	16	24(1)	8	—	—	46,728 (47,134)

( )年度中に転出した利用者数再掲 月平均の下段の( )は前年度

\*平成30年度 高知県内就労継続支援(A型・B型)事業所の平均月額工賃

A型 21施設 86,306円、B型 100施設 19,889円

(4) 売上/工賃内訳 (単位：千円)

区分	木工科	洋裁科	鍼灸マッサージ	理容科	美容科	喫茶	合計
A売上	9,552	—	—	1,835	1,701	441	13,529
B売上	57,100	1,663	5,179	1,017	857	34	65,850
合計	66,652	1,663	5,179	2,852	2,558	475	79,379
A賃金	4,990	—	—	1,344	1,156	190	7,680
B工賃	18,097	806	4,863	776	950	—	25,492
法定福利費	800	—	—	206	206	—	1,212
※作業員賃金	3,096	—	—	—	—	—	3,096
合計	26,983	806	4,863	2,326	2,312	190	37,480
人件費の割合(%)	40.5	48.5	93.9	81.6	90.4	40.0	47.2

(5) 行事等活動内容

行事等

5/25	県障害者スポーツ大会参加 (サウンドテーブルテニス)
5/26	県障害者スポーツ大会参加 (ボーリング)
6/2	県障害者スポーツ大会参加 (陸上 春野運動公園)
8/13~19	夏季休暇
9/11~19	個別支援会議
10/26	利用者検診 (高知検診クリニック)
11/1~	希望者インフルエンザ予防接種
11/9	利用者・職員研修旅行 (むろと廃校水族館)
12/14	盲学校と合同の地域交流会
12/28	仕事納め 『小高坂更生センターPRDVD』鑑賞 鳴子両手に世界で踊ろう
1/6	仕事はじめ (各科で)
1/27	『青森りんご』の贈呈式
2/17~26	個別支援会議
3/11	消防訓練(日中)

研修・視察等

5/13	高知県美容生活衛生同業組合総会	1名
10/10	働き方改革関連法等に関する説明会	2名
10/17~18	中国・四国社会就労センター協議会施設長研修高知大会	14名
2/5~6	県珊瑚協同組合大会	1名

理事・評議員会等

5/31	法人監査	小高坂更生センター3階	研修室②③
6/10	第1回理事会	小高坂更生センター3階	研修室②③
6/26	第1回評議員会	小高坂更生センター3階	研修室②③
3/30	第2回理事会	小高坂更生センター3階	研修室②③

加盟団体の会議

4/19	高知県身体障害者(児)施設協会総会
5/14	全国社会就労センター協議会総会
5/16	高知県社会福祉法人経営者協議会総会、理事会
8/6	高知県社会福祉法人経営者協議会理事会、経営セミナー
1/27	高知県社会福祉法人経営者協議会理事会、経営セミナー
3/4	高知県身体障害者(児)施設協会協議員会

販売活動

4/19~21	大丸リビングフェア	高知地場産センター
---------	-----------	-----------

5/22～27	大丸イベント
6/14～18	大丸イベント木工製品フェア 出品
8/3～4	朝霞市民祭「彩夏祭」出店グッズ販売・組立等（埼玉県）
8/8～12	高知大丸 木工連フェア 鳴子の販売等（高知大丸）
8/10～11	市民憲章 鳴子の手作りコーナー（追手前小学校）
8/12	よさこい祭り よさこい大賞の贈呈（中央公園）
8/24～25	原宿スーパーよさこい 出店鳴子販売・組立教室等（東京都）
10/19～20	大阪ゑえじゃないか祭り よさこいグッズの販売（泉佐野市）
10/26～27	第13回もくもくランド 木工製品の販売（中央公園）
1/11～13	神戸大丸 出張販売（木工連関係4社）

### マスコミ報道

7/10	デザイン材質様々鳴子づくりがピーク	KUTV
7/18	鳴子づくり急ピッチ	RKC
7/18	鳴子づくり	RKCラジオ
7/18	鳴子づくりの制作最盛期	NHK
7/19	制作ピークの高知の熱い夏	さんさんTV
1/15	龍馬マラソン“木”念品メダルづくり	NHKテレビ生中継

### 実習・見学等

6/10～6/21	県立山田特別支援学校	職場実習 高2女1名
6/6	高知市立特別支援学校	職場見学 高1、26名/教員11名
6/12～6/23	ハローワーク	職場見学 職員他2名
7/19、7/22	県立盲学校	職場見学 新転任者及び希望者
8/5	市立初月小学校	職場見学 先生生徒
10/28	兵庫県加古川市民生委員児童委員	職場見学
11/20	高知市立小高坂小学校	職場見学 2年生
10/7～10/18	日高養護学校みかづき分校	職場実習 女子1名
10/30～11/10	高知市立特別支援学校	職場実習 高1、男1名
11/13～24	高知市立特別支援学校	職場実習 高2、男1名
1/20～31	日高養護学校みかづき分校	職場実習 高校1年1名
1/20	アラブ首長国連邦大使	職場見学、鳴子組み立て
1/27～29	県立山田特別支援学校	職場実習 高校3年1名

### その他

6/8	県立盲学校運動会	1名
6/24	県立盲学校第1回開かれた学校づくり推進委員会	1名
2/14	県立盲学校第2回開かれた学校づくり推進委員会	1名

## (6) 課題への対応等

- ・新型コロナウイルスの発生流行という未曾有の事態を迎えている。その終息の見通しは不透明であり、2波、3波の感染拡大も懸念されており、長期化することが予想されている。  
利用者・職員が互いに助け合いながら一致協力して、より一層の感染防止対策を講じ利用者・職員の命と安全確保に努める。
- ・元年度の木工科の売り上げは昨年度と比べて4百万円余の増となった。(P5の売上の推移参照) 鳴子の売上げの好調によるものであるが、営業利益率のアップにはつながっていない面があり、より一層の職員の意識改革を図りながら、コスト削減に努める必要がある。
- ・しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、よさこい祭り関連イベントの中止が相次ぎ、当法人始まって以来の試練であり令和2年度の鳴子の受注はゼロに等しく、利用者の工賃支払いに極めて大きな影響がある。  
このため、国の福祉制度の活用を図りながら、また全国の障害者団体と連携して国に生産活動の減少に伴う利用者の工賃の減少に対する補填要望や優先調達推進法の活用による官公需の一層の推進を要望していく。  
当法人として、経営見通しの検討を踏まえ、できる限り利用者の工賃の維持確保に努めることとするが利用者・保護者の理解を得て利用者の工賃の減額も視野に入れる必要がある。
- ・一方で、①鳴子の生産計画の見直し、②関連業者との連携による木工製品の受注確保、ふるさと納税返礼品の受注拡大、新たな商品開発、③作業工程の見える化(各作業の生産数・在庫数の把握)④受注状況の見える化(木工会、利用者リーダーシップ会において受注状況の把握と共有)⑤高知県木製品工業連合協同組合(木材加工事業者)との連携による共同販売や共同購買、経営・技術向上を図る。  
⑥軽作業の作業能力の向上と工賃アップ
- ・また、6S運動(整理 整頓 清掃 清潔 習慣 スマイル)のパネル等の掲示による周知徹底と意識改革。
- ・法人の自立支援費収入に占める人件費比率は84%になっており、今後この傾向は高まるものと思われる。  
このことを踏まえ、A型、B型利用者の定員の見直し、出勤率の向上、職員の若返りなどを検討し、運営の適正化に努める必要がある。  
なお、障害者施設の障害者優先調達法に基づく、共同受注については、昨年度に引き続き「高知龍馬マラソン2019(2/18)」の記念品づくり(メダル)を5施設(昨年度4施設)が受注。  
(12,000個、4,920千円、ファンラン316個寄付)  
来年度も各施設連携して、引き続き、受注できるよう取り組む。

《売上推移》

1 木工科	(合計)	(鳴子)	(木工製品)	(軽作業)
23年度	40,178千円	(24,592)	(15,151)	(4,35)
24年度	40,710千円	(27,289)	(12,893)	(5,28)
25年度	50,300千円	(34,442)	(15,067)	(7,91)
26年度	47,734千円	(26,761)	(20,095)	(8,78)
27年度	60,197千円	(36,188)	(21,910)	(2,099)
28年度	63,005千円	(36,602)	(24,576)	(1,827)
29年度	61,007千円	(34,436)	(24,185)	(2,386)
30年度	62,316千円	(35,577)	(24,772)	(1,966)
1年度	66,653千円	(40,871)	(23,614)	(2,168)

2 理美容科	(合計)	(理容科)	(美容科)
23年度	5,502千円	(2,892)	(2,610)
24年度	5,983千円	(3,172)	(2,811)
25年度	5,732千円	(3,143)	(2,589)
26年度	5,862千円	(3,186)	(2,676)
27年度	6,297千円	(3,221)	(3,076) *3,472件
28年度	6,286千円	(3,204)	(3,082) *3,459件
29年度	6,043千円	(2,980)	(3,063) *3,375件
30年度	5,706千円	(2,980)	(2,726) *3,366件
1年度	5,409千円	(2,852)	(2,557) *3,130件

3 洋裁科	
23年度	2,281千円
24年度	1,767千円
25年度	2,237千円
26年度	1,888千円
27年度	1,869千円
28年度	1,797千円
29年度	1,673千円
30年度	1,854千円
1年度	1,663千円

#### 4 はり灸マッサージ科

(A型利用者3名、B型利用者3名⇒29年度から全員B型へ移行)

23年度	5,974千円	(内、はり灸	994千円)	*2,996件
24年度	6,439千円	(内、はり灸	991千円)	*3,197件
25年度	6,139千円	(内、はり灸1,	173千円)	*3,031件
26年度	5,386千円	(内、はり灸	890千円)	*2,670件
27年度	5,614千円	(内、はり灸	842千円)	*2,807件
28年度	5,460千円	(内、はり灸	759千円)	*2,753件
29年度	5,670千円	(内、はり灸	706千円)	*2,865件
30年度	5,759千円	(内、はり灸	699千円)	*2,912件
1年度	5,179千円	(内、はり灸	573千円)	*2,509件

\* 令和元年度売上 79,379千円 (喫茶売上:475千円含む)

\* 理美容科・はり灸マッサージ科

(臨時休業:令和2年3月4日~5月31日)

○くすのき寮（グループホーム）

(1) 開所日数 365日

(2) 利用者数 (2/3/31)

階（定員）	世話人	利用者
1階（5）		5
2階（10）		10
3階（5）		5
計（20）	4	20

(3) 利用者の年齢及び帰省の状況（家族との連携）

利用者の年齢				帰省の状況（元年度中）			
40歳未満	40歳台	50歳台	60歳台	なし	～10日	～30日	50日以上
2名	4名	7名	7名	9名	4名	0名	7名

(4) 1人当たりの利用料月額（30日）

（単位：円）

区分	家賃月額 25,000 市町村 10,000 補助	光熱水費 1日 400	食費 3食 680 180/250/250	合計 (作業日の昼食は、 就労事業で請求)
利用料	(自己負担) 15,000	12,000	20,400	47,400
3月の状況	最高 ( 48,730 )	最低 (32,050)	平均 (39,648)	

(5) 行事等活動内容

行事等

- 6月2日 県障害者スポーツ大会
- 8月9日 高知市納涼花火大会の県庁屋上見物会の申込み支援及び  
本館3階での見物会
- 10月27日 高知県身体障害者大運動会（申込み支援）
- 10月 利用者検診
- 11月 希望者インフルエンザ予防接種
- 11/6～8 寮内全エアコンのクリーニング
- 11/9 日帰り研修旅行
- 11/9、11/11 寮内大掃除、ワックス掛け
- 12/22 冬至のゆず湯（1階大浴場）
- 1/1 新年会
- 3/11 日中消防訓練（避難・通報・消火）本館/くすのき寮合同
- 3/31 夜間消防訓練（避難・通報・消火）の自主訓練
- 奇数月第2木曜日 給食会及びくすのき寮定例職員会

研修等

7/13	高知県南海トラフ地震対策課による事業者向け説明会	1名
10/17	中四国社会就労センター施設長研修会高知大会	15名
11/23	高知市保健所・施設内感染対策研修会	1名

見学

5/22	須崎市の障害者施設（ステップ）の職員及び関係者	3名
5/30	日高特別支援学校こうちみかづき分校の職員及び関係者	10名
12/24	県立盲学校の職員・学生・保護者	4名
1/16	こだかさ障害者支援センター通所者の保護者	1名
3/13	県立盲学校の職員・学生	4名

## (6) 課題への対応等

- ①くすのき寮が作成する個別支援計画と併せ、相談支援事業所が利用者の総合的なプランである「サービス等利用計画」の作成に対して、コミュニケーション保障とともに適切な助言、補足説明などを行い一人ひとりに応じた支援を行った。
- ②健康増進のため、早期の通院促進、通院の予約・送迎・同行・手話通訳の依頼・衛生管理、服薬管理・血圧の測定・記録、治療のための日常的なケア、爪切り等の衛生面での対応などきめ細かい支援に努めた。
- ③新型コロナウイルス感染予防対策として、利用者に対する毎日の検温と記録、体調の聞き取り、寮内の消毒、マスク配布、通院や薬受取の職員の代行支援、手話・口頭・注意書きによる利用者への周知と注意喚起などを実施した。



○聴覚障害者情報センター

(1) 開館日数 337日 (休館日 12月29日～1月4日、祝日：合計28日)

開館時間

利用時間	月～金	土・日
相談・情報提供コーナー	9～17時	9～17時
ビデオライブラリー	9～21時	9～17時
研修室の貸室	9～21時	9～17時

(2) 事業実績

① 県委託事業

ア 手話通訳者養成研修

手話通訳者養成講座修了者 通訳Ⅰ 高知市/昼・夜 10名  
 3市(南国、香美、香南) 10名  
 通訳Ⅱ 高知市/昼・夜 10名  
 黒潮町 6名  
 中芸、安芸市 5名  
 通訳Ⅲ 合同 16名  
 登録手話通訳者研修 5回 事例検討、ロールプレイ、手話実技・  
 学習 県外講師による講演・実技

\* 県登録手話通訳者 30年度(103名) ⇒ 令和元年度(100名)

手話通訳者全国統一試験 合格者7名/受験者21名

イ 字幕入りビデオライブラリー事業

登録者(団体含む) 204名(個人175名、団体29団体)

貸出数 399本(ビデオ0本、DVD399本)

移動ライブラリー 実施なし

ウ 聴覚障害者向け生活支援事業

難聴者・中途失聴者向け手話教室 土曜日各5回、延べ人数21名

相談支援 181件 生活支援46回サロンの集まり：毎週木曜日)

② 市町村委託事業

高知市手話奉仕員養成講座 修了者 入門編 48名 基礎編 40名  
 佐川町手話奉仕員養成講座 修了者 基礎編 17名  
 安芸市手話奉仕員養成講座 修了者 基礎編 2名  
 宿毛市手話奉仕員養成講座 修了者 基礎編 13名  
 土佐市手話奉仕員養成講座 修了者 基礎編 4名  
 室戸市手話奉仕員養成講座 修了者 基礎編 3名

③ 要約筆記者派遣事業

派遣件数64件 派遣人数252名 派遣サークル 「やまもも」他4団体

(3) 研修室使用状況(777件⇒737件、8,241名⇒8,406名：使用料収入3,000円)

① 聴覚障害者関連団体 298件、3,822名

② 視覚障害者関連団体 93件、605名

③その他の障害者関連団体 8 件、49 名

④聴覚障害者情報センター265 件 3,413 名、⑤その他 73 件、517 名

#### (4) 行事等活動内容

##### 行事等

- 7/12～14 ふくし総合フェア（センターのPR、日常生活用具等の展示）  
12/14 盲学校と合同の地域交流会（映画の上映、日常生活用具展示等）

##### 研修等

- |         |                         |          |
|---------|-------------------------|----------|
| 6/20～21 | 全国聴覚障害者情報提供施設大会（長野市）    | 1 名      |
| 7/21    | 手話通訳者全国統一試験に係る説明会（京都市）  | 1 名      |
| 8 /5    | 城北支部人権教育研究会             | 3 名      |
| 11/20   | 中国・四国ブロック情報提供施設会議（岡山市）  | 1 名      |
| 12/11   | 中国・四国ブロック意思疎通担当者会議（岡山市） | 2 名      |
| 1/24～26 | 全国ろうあ者相談員研修会（大坂市）       | 1 名      |
| 2/1     | 防災避難ニーズ調査及びシンポジウム       | 参加者 90 名 |
| 2/1     | 高知市ろうあ協会と合同防災学習会（高知市）   | 参加者 38 名 |
| 2/9     | 高知県幡多地域合同防災学習会（黒潮町）     | 参加者 87 名 |
| 2/24～26 | 長野県聴覚障がい者福祉センターへ視察（長野市） | 1 名      |
| 3/15    | 高知県東部地域防災学習会（香南市）       | 中止       |

#### (5) 課題への対応等

- ①情報センターは聴覚障害者が必要な支援や情報発信の拠点としての役割を担ってきたが、南海トラフ地震等への対策として聴覚障害者向けの防災学習会や、訪問による生活相談活動など、今まで以上に事業を拡大、充実させていく必要があり、引き続き取り組む。
- ②相談事業は、来所による相談に加え、一人暮らしや遠方の高齢者にはこちらから積極的に出向き、巡回相談に応じる体制づくりに取り組む。